

市街地、120人で綺麗に

県電設協が美化ボランティア



熊本県電設業協会(岩崎裕会長)の会員とその家族ら約120人は15

日、熊本市中心市街地の熊本高森線で13回目となる道路美化ボランティア

活動に取り組んだ。

熊本市との協定に基づき年2回、白川に架かる大甲橋から桜町交差点までの区間約1・5キロを対象に行っている。

協会安全福祉委員会の田中洋委員長が「歩行者や車両に十分注意してほしい」と安全管理の徹底を呼びかけた後、参加者は、熊本市役所を起点に2ルートに分かれて、歩道や花壇などに投棄された空缶やたばこの吸い殻などを拾い集めた。